

# 一 般 質 問 通 告 表

	ページ	
① 田 原 実	・・・	1 ( 3月1日予定 )
② 佐 藤 孝	・・・	3 ( // )
③ 山 本 剛	・・・	4 ( // )
④ 滝 川 正 義	・・・	5 ( // )
⑤ 保 坂 悟	・・・	6 ( // )
⑥ 笠 原 幸 江	・・・	9 ( 3月2日予定 )
⑦ 田 中 立 一	・・・	11 ( // )
⑧ 五十嵐健一郎	・・・	13 ( // )
⑨ 新 保 峰 孝	・・・	14 ( // )
⑩ 高 澤 公	・・・	15 ( // )
⑪ 東 野 恭 行	・・・	16 ( 3月4日予定 )
⑫ 古 川 昇	・・・	17 ( // )
⑬ 吉 岡 静 夫	・・・	18 ( // )

令和3年(3月)第1回市議会定例会



## 質 問 事 項

### ① 田 原 実

#### 1 スムーズで安心・安全な新型コロナウイルスワクチン接種について

【答弁者：市長】

- (1) 新型コロナウイルスワクチン確保及び糸魚川市の地域医療の現状におけるスムーズなワクチン接種、安心・安全なワクチン接種について伺います。
- (2) 糸魚川総合病院、市内診療所、糸魚川市行政の連携、必要となる行政の支援協力について伺います。
- (3) 市民の理解について、特に高齢者や持病等をお持ちの市民への対応について伺います。

#### 2 1月上旬の豪雪への行政対応と問題点及び「糸魚川市まるごと除雪・排雪大作戦」について

【答弁者：市長】

- (1) 国道8号の渋滞とその影響について伺います。
- (2) 主に能生方面の海岸沿い集落では、これまでにない豪雪による家屋の破損が生じています。これからも住み慣れた地域で生活するには家の修繕が必要ですが、高齢者の収入では修繕費が大きな負担とも聞いています。今後の市の対応について伺います。
- (3) 1月上旬の豪雪では、特に市民への情報伝達と初期対応の遅れ、行政機関同士との連携に問題があると市民から指摘を受けています。今後の対応の強化について伺います。
- (4) 住宅が多く、人が大勢住む地区では、除排雪の作業が困難なため、降雪の度に混乱が繰り返されています。公道の幹線は管理者が除雪しますが、市街地での枝線や私道の除排雪ができずに本当に困ったという声が随所で聞かれました。そのことはご存じでしょうか。今回の経験を踏まえ、抜本的な行政対応として、期間を集中して市街地の道路の除雪、屋根の雪下ろし、排雪と運搬、広場や河川や海への雪捨てを計画的かつ速やかに進める「糸魚川市まるごと除雪・排雪大作戦」を準備すべきと思ひ、提言しますがいかがですか、伺います。

#### 3 大火から4年、被災者や地域住民に寄り添う復興となっているか。

【答弁者：市長】

- (1) 糸魚川市駅北大火から4年が経過し、被災者や地域住民に寄り添う復興となっているか、また、どのように確認してきたか、伺います。

## 質 問 事 項

- (2) 高齢の被災者には日常の食材の買物などに不便を感じている方々が少なからずおられますが、その実態をご存じですか。これからも住み慣れた地域で生活するには市のサポートが必要ですが、今後の市の対応について伺います。
- (3) 大火被災場所に近い旧東北電力株式会社糸魚川営業所と宮田ビルを、最近市が取得しました。老朽化し、使用するには大規模修繕の必要があり、また解体するにもアスベストの使用などで多額の費用が掛かると聞いています。この土地と建物が被災者や地域住民に寄り添う利用となっていくのか、また、そのプロジェクトの責任者は誰か、伺います。

### 4 谷村美術館、木地屋の里施設、相馬御風先生の功績等糸魚川固有の優れた文化資源の活用について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 建設後 38 年の谷村美術館が、今再び注目を浴びています。そのことはご存じでしょうか。村野建築のシンボルとも言える谷村美術館の今後の運営、新しい戦略や情報発信、40 周年に向けての取組を伺います。
- (2) 国指定の文化財を収蔵展示する、木地屋の里民俗資料館の存続が危惧されています。糸魚川ジオパークを代表する蓮華ジオサイトと一体となった学習と観光の振興に資する施設としての活用を、市が進めるべきと私は考えます。今後の取組について伺います。
- (3) 相馬御風先生の功績を学び、顕彰することが、市民及び行政にとってとても大切なことであると、これまでずっと訴えてきました。私なりの視点から、早稲田文学編集者の時代から芸術座の時代の頃にスポットを当て、テレビ、アニメなどの手段で相馬御風先生の功績を広く世に知らしめることで、糸魚川市の知名度を上げ、誘客につながることも訴えてきました。具体化したものは何かありましたか。今回は、相馬御風先生が作詞に関わり、有名作曲家中山晋平先生と一緒に作った「カチューシャの唄」は、日本の歌謡曲第一号とされていますが、「カチューシャの唄」を国の文化財若しくは音楽遺産に指定する動きを糸魚川市が先頭に立ち、知音都市交流の中で進めてはいかがですか、伺います。なお、今回の提言は「カチューシャの唄」知音都市交流はまだ市民ララ会様にも伝えてあります。都市交流実務者会議で取り上げていただきたく要望します。

### 5 「えちご押上ひすい海岸駅」周辺のまちづくりを、高校生や地元高校、地域に住む若い世代や子育て世代と連携して進めることについて

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 新駅開業と地域づくりは、高校生が自ら地域を見て、聞いて、考え、将来像を

## 質 問 事 項

描く「地域探究学習」のチャンスです。地元高校と連携して進めていただきたいと思いますが、市長の考えを伺います。

- (2) 新駅周辺は、子育て中の若い世代が住む地域です。子どもたちは、やがて地域の明日を担う若者へと成長します。その若者たちが住み続けたいと思える地域づくりに、これからどのように取り組んでいかれるのか、伺います。
- (3) 駅周辺の空きスペース、例えば新幹線高架下を、高校生や若者たちがイベント等で使いたいといった場合の対応について、子育て世代が子どもの遊び場で使いたいといった場合の対応について伺います。
- (4) 子どもたちや高校生を守る防犯体制について伺います。

## ② 佐藤 孝

### 1 豪雪対策について

【答弁者：市長】

年末に降り出した雪は4日頃に小康状態になったものの、7日夕方からは日の光が見られない状態で、連日降り続けました。この間、市民、除雪作業員も対策本部も、肉体的、精神的な苦労を強いられ続けました。

以下伺います。

#### (1) 道路除雪について

- ① 令和2年度道路除雪計画書には、路線種別による除雪目標が記載されていますが、種別区分と住家の関係について伺います。
- ② 令和2年度道路除雪計画書の計画に対して、1月の豪雪時の道路除雪作業の状況はどうであったか伺います。
- ③ 降雪は、予想もしない、ひっきりなしの降りようで続きましたが、市民からの苦情やその内容について伺います。
- ④ 救急車や消防自動車が入れない孤立集落の状態は生じなかったか、伺います。
- ⑤ 道路除雪の改善と交通の確保は、市民の安心と安全を担保し、苦情の減少につながります。対策について伺います。
- ⑥ 市道、私道を含む袋小路の除雪体制と問題点について伺います。

#### (2) 災害救助法と屋根雪下ろしについて

災害救助法が適用され、屋根雪の調査等、中山間地担当の民生委員の仕事が急に増えたと聞いています。以下お尋ねします。

- ① 市議会全員協議会で配付された、提出資料No.2の最終ページの災害救助法適用後の適用要件の根拠について伺います。
- ② 大雪が続いていた時、交通機能が麻痺しておりました。世帯の資力及び労力の

## 質 問 事 項

うち、資力を適用要件にするべき事態ではなかったと思いますが、いかがですか。

- ③ 災害救助法における雪は、土砂災害における土砂や倒木と同じで、障害物の除去という扱いのようであります。

台風が過ぎ去った後の土砂の除去と、雪が降り続く緊急事態真っ最中での、障害物（雪）の除去を分けて考えるべきと思いますが、いかがですか。

- ④ 豪雪に見舞われた場合、道路除雪がままならないことが予想されます。地域や民生委員の担当区ごとに、生命と財産を守るマンパワーを組織できれば一番安心できると思いますが、いかがですか。

- ⑤ 県は屋根雪下ろしの命綱固定器具設置について、既に補助金制度のある市町村を対象に、上限5万円の補助制度をつくりました。糸魚川市もこの制度をつくったらと思いますが、いかがですか。

- ⑥ 災害救助事務取扱要領によると、「法による障害物の除去は、通常、住家内を対象としているが、原則として敷地内については、住家の出入り口等で日常生活に支障をきたすもの、また、放置しておくことが居住者等の生命に危険を及ぼす可能性のあるものは、実施して差し支えない」となっています。窓はどうかとか、歩行困難者等、居住者の状態によって柔軟な判断ができると思われませんが、今回の市の対応について伺います。

### ③ 山 本 剛

#### 1 私が過去に行った一般質問のその後について

【答弁者：市長、教育長】

私が過去に行った一般質問のその後について、以下伺います。

- (1) 平成30年に北海道胆振東部地震で北海道全域が大停電しました。糸魚川市は、50Hzの最も西の端に位置しています。自然災害で、送電線事故等により供給が途絶える可能性があります。そこで、市内の発電所を有する企業から、万一の場合は供給できないかと平成30年12月定例会で質問をしました。

その後の状況について伺います。

- (2) 平成31年3月定例会では、県施設である青海シーサイドパーク「ドームなぎさ」において、登録団体のみが対象ではありますが、冬期間に球技等の使用が可能となった件について質問をしました。

その後の状況について伺います。

- (3) 令和元年9月定例会では、平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果について質問をしました。

その後の、令和2年度の学力・学習状況について伺います。

## 質 問 事 項

また、陰山メソッド導入後の成果と問題点について伺います。

(4) 令和2年3月定例会では、豪雨災害が多発する中、河川の水位計等について質問をしました。

その後、水位計等の増設があったのか。また、河川監視のカメラ設置についても提案をしました。その後の状況を伺います。

(5) 令和2年9月定例会では、こどもフリーパスの高校生への拡大について質問をし、提案をしました。

来年度に導入する考えがあるのか、伺います。

(6) 令和2年12月定例会では、田海ヶ池の調査について質問をしました。

来年度の予定等について伺います。

### ④ 滝川正義

#### 1 市民生活の安全と安心に関して

【答弁者：市長】

- (1) 1月3日に柱道で発生した停電に、行政はどのように対応したのか伺う。
- (2) 本庁舎、能生事務所及び青海事務所の非常電源は、どのような状態なのか伺う。
- (3) 非常時に各地区との連絡体制を確保するために、衛星電話の導入が考えられないか伺う。
- (4) 停電時に電源車として利用するために、公用車を燃料電池自動車に置き換えられないか伺う。
- (5) コロナ禍の中でいまだ市民には不安感、閉塞感があるが、婚姻件数、妊娠届出件数及び自殺者数は、一昨年と比べてどのような状況か伺う。
- (6) 新型コロナウイルスワクチン接種の目標人数はあるのか伺う。
- (7) この度のワクチン接種には不安感があると思うが、どのように市民の理解、協力を求めるのか伺う。
- (8) 防犯カメラ設置補助金による防犯カメラ設置の進捗具合を伺う。

#### 2 新エネルギービジョンに関して

【答弁者：市長】

- (1) 政府の「温室効果ガス実質ゼロ宣言」には、どのように対応するのか伺う。
- (2) 「GJ」という単位にはなかなかなじめないが、なぜこの「GJ」という単位を使わなければならないのか伺う。
- (3) 新エネルギーの中で木質バイオマスが大きな比重を占めることについては、ど

## 質 問 事 項

のように評価しているか伺う。

- (4) 新エネルギーの地産地消を掲げるならば、市内の公共施設の電気を全て新エネルギー、再生可能エネルギーで賄うと宣言できないのか伺う。
- (5) 電気を媒介に地域内で資金循環をしながら、多くの人が再生エネルギーに関わる仕組みを「地域新電力会社」の機能の一つにできないか伺う。
- (6) 耕作放棄地等の農地で再生可能エネルギーの電源開発を行おうとすると、農業振興地域からの除外や農地転用の許可が大きな壁となる。他の市町村も同様な状態と考えるので、他の自治体と連携し、これら規制の緩和に取り組めないか伺う。

### 3 学力とデジタル化教育について

【答弁者：教育長】

- (1) 内閣府のホームページにある「小学校6年生、中学校3年生のいずれの学年段階においても、子供の国語・算数(数学)の学力と世帯所得には、統計的に有意な関連が認められる」というレポートを、どのように評価しているか伺う。
- (2) 浜野隆お茶の水女子大学教授の調査研究では、世帯収入600万円を境に子供の学力に変化が見られるようだが、教育現場ではこのような印象を持つことがあるのか伺う。
- (3) デジタル化教育がいよいよ始まるが、学校外、すなわち家庭や地域社会のデジタル環境の違いによって、子供たちの学びに格差が生じる心配はないか伺う。
- (4) 子供と一緒に美術館等へ出掛ける家庭では、経済的に不利な世帯でも、高学力を達成しているという浜野教授の報告があるが、この報告をどのように評価しているか伺う。

## ⑤ 保 坂 悟

### 1 子育て支援について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 新生児の1人10万円の特別定額給付金の給付について  
特別定額給付金の対象とならなかった新生児1人につき、誕生お祝い金2万6,000円の増額分を差し引き、7万4,000円分の商品券を追加給付すべきと考えるが、給付の考えはあるか。
- (2) 子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）について  
2014年から試行的に導入され、公明党が推進し2018年4月時点で市町村の4割で設置されている。当市も令和元年度より設置し、産前産後ヘルパー派遣とマ



## 質 問 事 項

タニティサロン等を行っている。現段階での課題や新年度に向けての新たな取組の考えはあるか。

### (3) 給食等のアレルギー対策とエピペン周知について

児童・生徒のアレルギーの種類や家庭の事情により、市の対応は様々となる。

- ① 学校の基本的な対応は、どのように行われているか。
- ② 調理員の方の意見や要望は、どのように反映されているか。
- ③ 教職員のエピペンの周知や研修は、どのように行われているか。

## 2 糸魚川市のデジタル化について

【答弁者：市長】

### (1) 写真や動画によるSNS通報システムの創設について

- ① 道路渋滞や道路損傷等を通報するシステムを作る考えはあるか。
- ② 聴覚障がい者のために「ネット119（緊急通報システム）」を導入する考えはあるか。
- ③ 各種通報を整理して市民へ配信する部署をつくる考えはあるか。

### (2) 情報弱者のために市独自の「自治体アプリ」の創設について

高齢者や障がい者にとって使い勝手の良い行政サービスアプリを開発する考えはあるか。

### (3) デジタルデバインド（情報格差）解消について

- ① 市民の中に情報格差をつくらない工夫を考えているか。
- ② スマートフォン等の普及策をどのように考えているか。

### (4) 広報いといがわ・おしらせばんについて

- ① デジタル化に向けた市民の意向調査の考えはあるか。
- ② 配布している方たちの意見を聴く場を設ける考えはあるか。

### (5) デジタル化に伴い停電時の電源確保策の推進について

電源確保に自然（再生）エネルギーの普及を考えているか。

## 3 新型コロナウイルス感染症対策について

【答弁者：市長、教育長】

### (1) ワクチン接種の情報周知について

混乱を招かないように正しい情報を適宜配信すると同時に、全市民に情報が行き渡る工夫が必要と考えるが、どのように取り組むか。

### (2) パルスオキシメーターの導入について

「パルスオキシメーター」は、クリップ状の装置を指先に挟み、血液中の酸素濃度を計測するものである。症状悪化の兆しは血液中の酸素濃度の変化に現れる

## 質 問 事 項

ため、自宅療養者自身が重症化を防ぐ手立てとなることから、昨年4月より公明党が厚生労働省に導入要請している。糸魚川市においても導入の考えはあるか。

### (3) 図書消毒機の導入と学校図書活動の推進について

- ① 市立図書館や学校図書室に消毒機導入の考えはあるか。
- ② コロナ禍におけるGIGAスクール構想と学校図書館の指針や取組は、どうなっているか。

### (4) 飲食店等の市内経済対策について

1月19日に商工観光課に相談した飲食店等への救済策について、検討中とのことであったが、検討結果はどうなったか。

## 4 特色あるまちづくりについて

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 海洋高校を中心とした「海洋学サテライトキャンパス化」について

- ① 産官学連携特別区の指定を求める運動を展開する考えはあるか。
- ② 海洋スポーツやレジャーの推進地とする考えはあるか。
- ③ 「高校生シーフードレストラン」構想を具体化する考えはあるか。

### (2) SDGsを身近に感じる取組について

- ① 脱炭素社会に向けたエネルギー開発と利用の目標はあるか。
- ② 基礎学力の徹底と興味を膨らます教育環境整備の目標はあるか。
- ③ デジタルデバイド（情報格差）の解消への目標はあるか。
- ④ 手話言語条例に関わる具体的な取組の目標はあるか。
- ⑤ 市内施設等のバリアフリーの推進で具体的な目標はあるか。

### (3) 新たな観光戦略について

- ① ジオパルと各駅舎の活用やイベント列車など「鉄道のまちづくり」の推進の考えはあるか。
- ② 新幹線駅と駅南エリアと市民会館の活用についての考えはあるか。
- ③ アニメやチームラボ等の連携による観光スポットを考えているか。
- ④ アナログとデジタルを体験できる拠点づくりの考えはあるか。

## 5 気になる諸課題について

【答弁者：市長、教育長】

### (1) 庁舎トイレの改修工事入札中止について

- ① 全く動きがないが、このまま市長選や市議選を迎える形になるのか。今後の見通しは、どうなっているのか。
- ② 当初計画のトイレ工事自体は、どうするのか。

## 質 問 事 項

### (2) 県立糸魚川高等学校に係る県の2つの調査報告書について

市は地元3高校の魅力化を推進している。昨年12月にあった再調査委員会の報告結果を踏まえて、県が被害者並びに保護者に謝罪するなど一日も早く収束するように提言する考えはあるか。

### (3) 空き家対策について

固定資産税の6分の1課税と空き家の維持管理の隙間を埋める仕組みづくりが必要と思うが、国県と連携して対応を行う考えはあるか。

### (4) 今後の避難行動要支援者への現実的な対応について

- ① 冬期間の買物や通院を考慮した居住地提案の考えはあるか。
- ② 災害の種類と避難方法を考慮した居住地提案の考えはあるか。
- ③ 爆弾低気圧や台風、大寒波の予想が立つ場合の事前避難の提案の考えはあるか。

## ⑥ 笠原幸江

### 1 0歳児から18歳までの子ども一貫教育について

【答弁者：市長、教育長】

12月1日、新潟県において、糸魚川高等学校で発生したいじめ再調査報告書が公表されました。子ども一貫教育の活動として、市の教育委員会は、このいじめ事案について保護者と学校との調整活動を行ってきました。再調査結果を受けて、高校への情報提供のあり方(中学校からの引継ぎを含む。)と調整活動の成果と課題について、以下の項目を伺います。

- (1) 中学校からの引継ぎは、全て口頭で全生徒について行っていますが、指導要録に記載されていない、また高校が保護者に提出を求めている保護者の勤務先等の個人情報を提供する目的及び必要性について伺います。
- (2) 前回の調査報告書では、高校で発生した事案ではなく、中学時代のいじめ事案と和解金による解決に焦点を当てており、市の決定に対して「奇妙な解決」と意見が述べられているほか、中学時代のいじめは「裁判で解決した」等事実と相違する記載が多数あります。特に保護者については、「モンスターペアレント」だと発言する関係者がいたことから、高校から県の教育委員会にも報告され、報告書には、保護者の言動や評価が多数記載されています。高校は、中学時代のことは、糸魚川市から提供を受けているとしております。
  - ① 市(中学校を含む。)と高校のどちらにどのような問題があったのか、中学校からの引継ぎ時及び事案発生後にあったのですか。伺います。
  - ② 事実と相違する内容の記載について、本市として県及び被害者家族に対して、今後どのように対応されるのですか。伺います。

## 質 問 事 項

- ③ 調整活動に入った直後から、保護者とは建設的な話し合いができないとして、高校と市の教育委員会で話を進めてきた経過があります。中学時代のいじめの影響を踏まえた対応の検討、精神的な状況判断などができなかった調整活動の問題点について伺います。

### 2 女性の意見を聴く会「きらっと輝く・いきいき糸魚川」について

【答弁者：市長】

令和2年11月11日に市議会と行政との共催で、女性の意見を聴く会が初めて議場で開催されました。上越市、妙高市の女性議員（5名）の方からも傍聴していただき、関心の高さを伺うことができました。

今回は7名の女性の意見であり、ほんの一握りでありました。仕事などで傍聴できなかった市民から、是非、次につなげて欲しいという声をお聞きしています。

議会や行政に多くの市民が関心を持っていることから、女性の意見を聴く会を無駄に終わらせないよう継続し、取り組んでいただきたい。それらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 共催として初めて取り組みました。その成果について伺います。
- (2) 男女共同参画推進担当課が中心となって、啓発活動の一環として取組を進めていただきたい。いかがでしょうか。

### 3 工事入札の中止について

【答弁者：市長】

1月26日執行予定でありました、本庁舎のトイレ電気設備改修工事と本庁舎トイレ改修工事が延期、その後中止となった旨の報道がされております。

内容は「調査を実施した結果、不正の事実確認はできませんでしたが、不正のおそれの払拭には至らなかったため、財務規則にのっとり工事入札を中止とすることとした」とあります。

私が議会に籍を置かせていただいて、初めての事案であります。

なぜそのような経緯になったのか、市民に対し、行政の説明責任があると考えております。それらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 報道発表としなければならなかった経緯について伺います。
- (2) 令和2年度事業予算であります。中止とした場合の執行上の処理についての取扱いは、どのようにされますか。

## 質 問 事 項

### 4 デジタル社会の実現に向けた取組について

【答弁者：市長】

国や県においてデジタル社会の実現を推進しています。

今般の新型コロナウイルス感染症対策の実施を通じ、各種給付金の受給申請手続き、支給作業の一部の遅れや混乱が生じるなど、特に行政分野におけるデジタル化の遅れが如実に現れたと感じています。当市においても新型コロナウイルス感染症対策として、補正予算を組み、経済対策等事業の拡充や新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保を加速しています。しかし、情報が取りにくい市民の方からの問合せも多くあります。一人一人のニーズに合った取組が必要と感じています。

デジタル化の基盤でありますマイナンバー制度事業等、以下の項目について伺います。

- (1) マイナンバーカードの必要性和安全性について、市民の中に入り丁寧な説明をされていますか、伺います。
- (2) デジタル化を推進するための外部人材確保・育成に取り組んでいただきたいが、いかがですか。
- (3) デジタル化推進室の設置が必要と考えます。いかがですか。

### ⑦ 田 中 立 一

#### 1 今冬の大雪について

【答弁者：市長】

今冬は、昨年12月にまとまった降雪があり、県内の交通網に大きな影響を与えましたが、特に1月7日から降り続いた大雪は、市内観測地点の平均積雪が208cmに達したことから「災害救助法」が適用され、糸魚川市も「豪雪災害対策本部」を設置しました。除雪の能力を超える降雪量であったことでもあり、国道・高速道路をはじめ市内道路は寸断され、交通機関も麻痺し、孤立した集落も発生しました。

昼夜を問わず懸命に除雪に当たられた業者さん、各地・各集落の区長さん、民生委員さん、市の職員等々非常にご苦労されましたが、この大雪により、物流の遮断、除雪作業による人身事故や家屋の損壊、農林漁業施設の損壊など経済、福祉、教育など市民生活全般にわたり大きな被害と影響がありました。

雪国の宿命とはいえ、今回の豪雪は、市内海岸、平野部や市街地から中山間地に至る広い範囲で被害が発生しており、過疎化、少子高齢化の進んでいる糸魚川市において、更に拍車がかかるのではないかと懸念され、今回の豪雪災害をしっかりと捉え、検証し、今後どう対応するかが問われているのではないかと思います。以下について伺います。

## 質 問 事 項

### (1) 除雪体制について

昨年の暖冬少雪から一変して今冬は記録的な大雪となり、戸惑いはあったかもしれませんが、改めて除雪体制や整備についての課題はなかったか伺います。

- ① 国・県との情報や除雪体制の連携について伺います。
- ② 各集落から寄せられる要望内容と連携について伺います。
- ③ 除雪業者との連携、特にオペレーターの確保、除雪機の配備について伺います。

### (2) 各地の除雪、融雪施設の整備について

- ① 各地に貸与されている小型除雪機の貸与状況について伺います。
- ② 敷設要望が高い消雪パイプの今後の計画について伺います。
- ③ 流雪溝の整備について伺います。

### (3) 豪雪時における福祉及び救急対応について

- ① 屋根雪等除雪支援制度の要望内容について伺います。
- ② 救急車等緊急車両が集落内に入れられない場合の対応について伺います。
- ③ 空き家の除雪について伺います。

### (4) 豪雪時の災害対応について

筒石地区の治山事業で設置されている警報が鳴り、住民が雪の中避難する事態が生じました。幸い誤報でしたが、新たに浮かび上がった課題と対応について伺います。

### (5) 農林漁業の被害と対策について

雪の重みで損壊した農林漁業の施設の把握と支援について伺います。

## 2 35人以下学級への対応について

【答弁者：市長、教育長】

公立小学校の1クラスの定数は現在、小学1年生のみ上限が35人、小学2～6年生は40人でしたが、2021年度から小学2年生も35人となり、以後順次学年ごとに引き下げ、2025年度に全学年35人以下学級となります。

コロナ禍において、小学校での外国語教科、プログラミング学習の導入、1人1台の端末配付などと教育の現場は大きな変革期にあります。少人数学級はきめ細かな教育の実施、新型コロナウイルス感染症防止対策としても期待されています。

一方で、公立の教員の採用試験の倍率が下がり続け、今後は教員の確保が課題となるのではないかと危惧されていますが、当市において少人数学級への対応状況と課題は何か伺います。

## 質 問 事 項

### 3 新型コロナウイルス感染症による影響と対応について

【答弁者：市長】

- (1) 新型コロナウイルス感染症による自粛に加え、今冬は豪雪で、市内事業所でも経営に大きな影響が出ているのではないかと思います。どのように把握されているか伺います。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でしたが、昨年の観光客の動向と経済対策の効果について、どのように把握されているか伺います。
- (3) 自粛により公共交通も大きな影響を受けていますが、状況と対策について伺います。

### ⑧ 五十嵐健一郎

#### 1 第3次総合計画における糸魚川未来重点戦略の取組・方向性について

【答弁者：市長、教育長】

12月等の一般質問での糸魚川市の本質的価値や脱炭素社会及び市政運営等の回答やアンケート調査を踏まえて、より深掘りし、理事者としての政策ビジョンを総合計画に反映するべきと思います。

そこで「ワクワクするような夢と希望の持てる」糸魚川市にするためにも以下の項目により、未来重点戦略の取組・方向性についてお伺いいたします。

- (1) 大深度地熱発電等の再生可能エネルギー
- (2) 水素社会への対応
- (3) 水の調査研究と利活用
- (4) 東京圏等一極集中の是正
- (5) 地域医療の充実と医療制度の改正
- (6) 断らない相談支援体制づくり
- (7) 糸魚川オープンイノベーション（IOI）会議の設置
- (8) 皇室ゆかりの三の丸尚蔵館の美術品借受けと当市文化財保存活用地域計画
- (9) 職員等の意識改革と経営感覚
- (10) このほかに新しいワクワクする政策ビジョンを上げていただきたい。

## 質 問 事 項

### ⑨ 新 保 峰 孝

#### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

【答弁者：市長】

- (1) 医療関係者から新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの接種が始まった。ワクチン接種をどのように進めていく考えか。  
実務を担う糸魚川市の計画と体制は、どのようになっているか。医師、看護師、接種後の一時待機の場所等、確保できたか。
- (2) ワクチン頼みで感染対策がおろそかになれば、新型コロナウイルス感染症を抑え込むことはできない。無症状感染者を含めた検査の抜本的拡充、医療機関への減収補填、十分な補償等、感染対策の基本的取組を並行して、しっかり行うことが必要と考える。どのように考えているか。
- (3) 医療機関のみならず、高齢者施設を集団感染から守ることは、緊急の課題である。介護や高齢者施設の優先接種を、県や国に働き掛ける必要があるのではないか。
- (4) コロナ禍で全国的に医療危機の状態が表面化し、医療従事者の離職もある。地域医療体制の長期的安定を図るためにも、医療への国の財政支出を増やす必要があると思うが、どのように考えているか。

#### 2 保育・教育行政について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 保育士を目指す人たちが少なくなっていると言われ、保育行政をめぐる環境には厳しいものがあると思うが、当市の人材確保の現状は、どのようになっているか。
- (2) 近年、保育職員の退職が多いのではないかと思うが、職員が辞める原因と現状をどのように捉えているか。
- (3) 少子化の中で、浦本保育園が休園となるが、学校統合と同じように十分な話し合いを行った上で方向を決めるべきと思うが、閉園を急いだ理由は何か。
- (4) 近年、小学校の学級をまとめるのが一層大変になっているのではないかという声を聞くが、その原因をつくりだしている一因に、子供の発達に沿った保育・教育になっていない結果ではないかということも考えられる。どのようにお考えか。
- (5) 教育委員会の所管事務が多過ぎるのではないか。保育園の所属を福祉事務所に戻したらどうか。



## 質 問 事 項

### ⑩ 高 澤 公

#### 1 分かりやすい予算書作成について

【答弁者：市長】

11月に「女性の意見を聴く会」を開催しました。

行政にはお忙しい中にもかかわらず、市長をはじめ大変なご協力を頂きました。感謝申し上げます。

市議会に新しい1ページを追加することができたと喜んでいきます。

振り返ってみると、女性の意見、要望の大部分は既に手掛けているものが多く、市の事業の広報周知に問題があったと反省させられました。

行政、議員とも、市民に分かっていただく努力が足りなかったと思います。

また、行政の内容を知るための、予算書の表記の仕方も少なからず問題があったと言わざるを得ません。

市民が知りたいこと、必要なことが、一目で分かるようになっていません。

分かりやすい予算書にする必要があります。

インターネット表示も遅いようです。一考をしていただきたいと思います。

分厚い予算書の中に、単純な項目1項目だけの表記もあります。これらも改良に値すると思います。

委託料についても、何を目的に、どのような内容で、どこに委託しているのか分かりません。

職員が自ら行うよりも、委託した方が安価で、より良い結果が得られるものもあるでしょう。

しかし、中には職員がやらなくてはいけないものもあるような気がします。

予算書は、職員や議員だけのものではありません。

市民が必要な情報を必要な時に得られるような、市民のための予算書づくりが必要だと思っています。

以下、伺います。

- (1) 事業の内訳欄に、補助金・繰出金・負担金・償還金・扶助費・預託金・委託料など、1項目だけの内訳もある。もう少し工夫できないか。
- (2) 委託事業も多いが、委託方法や委託の功罪の検証の必要があると思うが、いかがか。

## 質 問 事 項

### ⑩ 東野 恭 行

#### 1 アフターコロナを見据えた地域経済の活性について

【答弁者：市長】

- (1) コロナ禍で軒並み中止になった市民イベントの再開を支援する「パワーUP再開協力金創設(仮)」について、考えはあるか伺います。
- (2) 一般社団法人等の「地域活動団体に更なる活力を」ということで、市職員の積極加入を促してきたが、考えはどうか伺います。
- (3) この度糸魚川市は、糸魚川市本町の民間企業の建物を取得したが、取得の目的と今後の展望について伺います。
- (4) 駅北周辺は昨年2月よりスーパーマーケットがなくなり、地域の高齢者も苦労されております。糸魚川市において移動販売(スーパーマーケット等)事業者へ支援制度はあるか、伺います。
- (5) 糸魚川創成塾が発足してから新規創業者も年々増えていますが、コロナ禍において苦境に立たされ、不安を抱えていると考えます。今後の糸魚川市として、新規創業された方々との関わりと取組をどのようにお考えか伺います。

#### 2 官民連携のあり方について

【答弁者：市長】

- (1) これからはアフターコロナを意識した経済対策やまちづくりの仕掛けが必要と考えます。時間を掛けず、ダイレクトな情報収集も必要であると考えます。そのために、これからは担っていく若者・若手市職員に「直接市長と対話できる機会」が必要であると考えますが、いかがか伺います。
- (2) 糸魚川市において、地域おこし協力隊の「就任～愛着醸成～糸魚川定着」までのプログラムをお考えか伺います。
- (3) 糸魚川市において、地域づくりプランの策定が進んでおりますが、地域独自で災害時の要援護者に対する「一歩進んだ支援体制」策定の支援は可能か、伺います。

#### 3 人口減対策について

【答弁者：市長、教育長】

- (1) 子どもたちが誇れる「美山多目的グラウンド・美山球場」の整備について、糸魚川市公共施設等総合管理指針における今後の整備計画を伺います。
- (2) スポーツ・文化・芸術における「指導者育成支援」。現在の糸魚川市の取組に

## 質 問 事 項

ついて伺います。

- (3) 地域で頑張る部活動・子どもたちが輝く活動を「市ホームページに特集」で掲載するお考えはありますか、伺います。
- (4) 新型コロナウイルス感染症対応で、子ども誕生お祝い事業「商品券5万円」があるが、新型コロナウイルス感染症対応が終了後も継続の検討がありますか、伺います。
- (5) 明日の糸魚川を担う「ひとみかがやく日本一の子どもをはぐくむ子育て」を掲げる糸魚川市ですが、子育てにおける就労人材の確保は十分でありますか。また、現段階で就労人材の「市独自の給与ベースアップ」は、お考えにありますか、伺います。

### ⑫ 古 川 昇

#### 1 介護保険事業の推進について

【答弁者：市長】

2019年4月時点で総人口は減少傾向となる中で、65歳以上の高齢者人口は3,589万人、高齢化率は28.4%で、高齢化が進んでいます。加齢による衰えや疾病等が原因で介護が必要となった認定者は658万人となり、介護保険制度発足時の2.6倍に上昇し、介護費用は10兆円を超えました。この間に、地域密着型サービスの新設など、サービスの種類を増やして地域住民のニーズに対応しながら、要支援者の訪問・通所介護を地域支援事業に移行する多様化を図り、一定所得以上の利用者の自己負担を段階的に引き上げる等、制度の拡大より持続性確保に重点が置かれてきました。第8期介護保険事業計画策定に対し、国は改正に係る基本的考え方を、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で、感染症や災害への対応力強化の推進や、自立支援・重度化防止の取組、介護予防・地域づくりの推進と健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの推進、介護人材確保、制度の安定性・持続性確保など推進施策と介護報酬改定の方向を示しました。2025年、団塊世代が後期高齢者となり、介護ニーズの増大が続く予測の中、地域特性を的確に踏まえた介護サービス提供体制の整備・確保が求められています。以下伺います。

- (1) 長引くコロナ禍にあって、利用者・職員・施設や地域を感染から守る対応に頑張る介護事業所の現状把握と、相談・支援について、今後の取組も併せて伺います。
- (2) 糸魚川市の人口構造と高齢者人口・介護認定者推計などを確認した場合に、見えてくる高齢者介護・福祉への課題と地域の特性に応じた対応を伺います。
- (3) 団塊の世代全員が後期高齢者となり、介護サービス需要の拡大が想定される中、地域の実情に応じて構築するとした医療・介護、予防・住まい・生活支援が包括的

## 質 問 事 項

- に確保される地域包括支援システムの推進と、その活用状況について伺います。
- (4) 地域支援総合事業の弾力化について考え方が示されていませんが、行政は実施に向けて検討されているのか伺います。
- (5) 健康寿命を延伸する施策が地域共生社会の実現や制度維持・財源的にも重要視されてきましたが、取組の現状と課題について伺います。
- (6) 介護人材確保対策で若い層だけでなく、ミドル世代も含めた確保対策の多様化について、具体的な取組や支援策と、市内における介護専門職の人材の現状を伺います。

### ⑬ 吉 岡 静 夫

- 1 今回市長選に対応しての現市長・米田徹氏としての基本的な考え方・姿勢・対応
- 2 「二元代表」・「議会基本条例」についての基本的な考え方・姿勢・対応
- 3 絶対人ごとではない、必ず自分ごととなる「高齢化」・「高齢者問題」に対する基本的な考え方・対応・姿勢

【答弁者：市長】

この4月23日（金）、現市長の任期最終日（議員も同じく）。そこで、私、その市長に対して次の3項目を掲げ、質問させていただきます。

- 1 今回市長選に対応しての現市長・米田徹氏としての基本的な考え方・姿勢・対応。
- 2 「二元代表」・「議会基本条例」についての基本的な考え方・姿勢・対応。
- 3 絶対人ごとではない、必ず自分ごととなる「高齢化」・「高齢者問題」に対する基本的な考え方・対応・姿勢。

時期も時期、ということで、以下各項目に沿って市長としての基本的な考え方・姿勢・対応などについてお示しいただきたい。

よろしく願いいたします。

- 1 今回市長選に対応しての現市長・米田徹氏としての基本的な考え方・姿勢・対応

こと、行政府の長という権能の特性を配慮した場合、多選を避けるのが道。特に、地方行政にあっては「首長」と「議員」の持つ特性を配慮し合いながら進めなければならない。これは原則。

一方の「首長」は単体で、一方の「議員」は複数・合議体。「市長」はあくまでもAはAという「個」でしかない。一方、「議員」は、BもありZもありという合議体。この違いを根っこに置いて、私は「市長」の多選は絶対避けるべき、いや、避けなければならないと主張しています。

## 質 問 事 項

このことは、次項の「二元代表」・「議会基本条例」を論じ合い、確認し合った上での基本でもあり、根っこでもあります。

以上の背景と理論のもと、私は、今回表面化してきた「市長5選」への米田徹氏の動きは賛同できません。

繰り返して言わせていただきますが、「二元代表」の一方「首長」と、いま一方の「議員」には、そのよって立つところの違いがあるのです。その根っこ・背景の下に私は「首長の5選反対」を申し上げさせていただきました。

いかがお考えか、胸の内、いや、外でもよい、あえてお伺いさせていただきます。よろしく願いいたします。

### 2 「二元代表」・「議会基本条例」についての基本的な考え方・姿勢・対応

「『市長』と『議員』は『二元代表』」を標榜し合い、「議会基本条例」が作られ、動き出したのが2016（平成28）年9月。大きなエネルギーを投入した成果でした。

そして現実。残念ながら「うたい文句」とのギャップが。これが一人ひとりの市民となると。

このことを見せつけてくれたのが、2017（平成29）年9月27日付けでの「市議会一般質問にかかるお願い」なる市長から議長への公文書。

「―議会は、市長等の行政執行を監視・調査―」をうたっているはずが、この公文書、まるで「綴り方教室」などで「教えてやりますよ」と、議員側が市長側から教え諭されている。

確かに、「二元代表」とはいても、その一方である「議員」は、個となると組織・構成・数など、「市長」と比べればその力は格段の差。

しかし、「議員（議会）」は、行政側の一部局ではないのです。一人ひとりの思いや姿勢は様々。そういった様々な市民一人ひとりの思いや願いを基本として存在するのが議員一人ひとり。単体ではない複数体としてそのためにこそ存在するのです。

なのに、まるで「教えてやるぞ」調の市長から議員への「お願い」と銘打っての「公文書」。

この事実が明らかになって以降、次のようなお言葉を結構数多く頂いております。

「―議員諸侯、ちっちゃなこどもが、こうするのよ、わかった？と言われていたようだ―」

「―『二元』『基本』と、ことばはリッパ。でも、この文書、『市長』と『議員』両者の力関係を見せつけているかのようだ―」

「―コワイのは、流れに逆らっては損、もの言って困ったちゃん扱いされては…、それも損―」

「―オカミの強さとタミの弱さ、という実態・実情がミエミエだ―」

「―『二元代表』は、それぞれ大事。が、それよりも、こういった足元を『市長』

## 質 問 事 項

も『議員』も見よう・気づこう・考えあうようにしなければ—

今次の「公文書」問題への反響のほんの一部ですが紹介させていただきました。  
そこで市長、こういった現実について、どうお考えかお聞かせいただきたい。  
よろしくお願いいたします。

### 3 絶対人ごとではない、必ず自分ごととなる「高齢化」・「高齢者問題」に対する基本的な考え方・対応・姿勢

私、この5月21日、85歳。連れ合い78歳。身をもって「高齢化」「高齢者問題」と向き合わせてもらっております。私ばかりではない、私たち夫婦だけではない、誰もが必ずぶつかる。

私たち、目指すべきは「ガンバレ」ではない。「ガンバル」を目指すべき、「ガンバロウ」の合唱ではない、「ガンバレル」を目指すべきなんだ—と。どんなに弱さを抱えようが、堂々とそう言い合える、お互いを生かし合える—そんな住み場所を目指そうではありませんか。

いま、「平均寿命・健康寿命」は80歳代から90歳代へ、「年齢段階別人口分布」の老年人口が4割を超える勢い、「後期高齢者人口」も2割台へと。さらに現実、配りもの・回覧板にしても困り抜いているという実態。

私は、これからは「行政による『支援』」ではない、行政の『責務』と位置づけて対応しなければならない」と断言させてもらっております。

それにしても、「オカミ・行政」の力は「タミ・市民」のそれとは段違い。このことを私たち、「オカミ」「タミ」共々自覚し合うことこそが今求められている。「責務」を根っこに据えていきましょう、そのためにも、「議会基本条例」・「二元代表」の理念を追い続けようではありませんか。

くどいようですが、行政執行の根っこ。それは「強・大・多・勢い・にぎわい」を追うことではない、「弱・小・少・弱さ・静けさ」を根っこに据えた上でのまちづくりです。

誰しも「トシをとる」「ヤマイを抱える」「弱さに悩まされる」—であればこそ、私たち、「『自分』らしく生きられる、生き続けられる」—そんなまち「糸魚川」にしよう。それこそが行政の「責務」。

市長、どう受け止められますか。ぜひご所見をお聞かせください。

まとめとして、質問項目の3とダブリます。が、あえてこの場で言わせていただきます。

かつて、「一億総活躍」などの言葉がもてはやされました。更には「カネだ、カズだ、チカラだ、イキオイだ」が今も。確かに人である以上そうありたい、一種の本能なのですから。

でも、「行政」のありようとなるとそこは違う。誰だって間違いなく歳（トシ）を

## 質 問 事 項

とる。弱さを抱える、であってみればこそ、そんな「弱い自分」でも活かし合えるような「住み場所」や「まちづくり」を目指すべき。それこそが「生きる」「活きる」上での「行政」が果たすべき一番の役割。「公務『市の責務』」は常にその原点を目指し続けるべきです。

くどいようですが、決して「自助」などの言葉で行政の主人公・構成員でもある一人ひとりを抑え込むようなことをやるべきではありません。まずは「公務」です。「市の責務」を根っこに据える。その上でこそ「共助」、「互助」、そして「自助」を成り立たせるようにしていかなければならない。

くどいようですが、申し上げさせていただきました。市長、どう受け止め、どう対応すべきか、その中身をお聞かせください。